

明シ暮ス程ニ、秋ニモ成ニケリ、可然ニヤ有ケン、作タル田糸能出來タリケレバ、多ク薦置テ妹兄過ス程ニ、漸ク年來ニ成ヌレバ、然リトテ可有事ニ非子バ、妹兄夫婦ニ成ヌ、然テ年來ヲ經程ニ、男子女子數產次ケテ、其レヲ亦夫婦ト成シツ、大ナル島也ケレバ、田多ク作リ弘ゲテ、其妹兄ガ產次タリケル孫ノ島ニ餘ル許成テゾ于今有ナル、土佐ノ國ノ南ノ沖ニ妹兄ノ島トテ有トゾ人語リシ、此ヲ思フニ、前生ノ宿世ニ依コソハ、其島ニモ行佳、妹兄モ夫婦トモ成ケメナント語ツ傳ヘタルトヤ、

〔續世繼雲井〕入道○藤原おとゝの四の君は、威子の内侍のかみときこえたまひし、こよひ女御にまいり給ひて、藤つばにおはします、神な月の十日あまりのこと、きさきにた、せ給、國母○彰も。

后○威もあねをと、におはしませば、いとたぐひなき御さかえなるべし、

〔倭名類聚抄二婚姻〕嫂婦 爾雅云、女子謂兄之妻爲嫂弟之妻爲婦嫂草反作嫂和名興女父母妻同

〔箋注倭名類聚抄一婚姻〕說文、嫂兄妻也、釋名、嫂叟也、叟老人稱也、○中按、嫂屬心母、早屬清母、草屬精母、三字其音皆縮小於舊也、鄭玄注、喪服傳云、嫂猶叟也、叟老人稱也、略○中新撰字鏡、嫂訓與女、與此言與父母之呼子妻同合、今俗呼阿爾與女於止宇止與女接子之妻

亦曰婦、

〔伊呂波字類抄人倫〕嫂 謂兄弟妻爲嫂、

〔倭訓栞中編一〕あによめ、嫂をよめり、兄の婦也、

〔釋親考〕女子謂兄之妻爲嫂、弟之婦爲婦、

胤按孟子曰、男女授受不親禮也、嫂溺援之以手權也、禮嫂叔不相爲服、據此則兄妻稱嫂者、不特女